



とよおか

第 12 号

平成13年7月18日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷(株)



猛暑にも負けず元気一杯な園児達（中央保育所）

5月臨時議会 6月定例会

5月臨時議会、6月定例会から	2～5
補正予算の質疑から	6～7
一般質問の様子	8～12
「追跡レポートⅠ」	13
常任委員会から	14～15
「私の一言」、特別養護老人ホームの現状	16

5月臨時会

臨時会では条例改正二件、平成十二年度補正予算五件が、提案、承認された(いずれも専決処分)。条例改正は村税条例一部改正、国保税条例一部改正によるものである。

補正予算は、一般会計で主なものとして、庁舎跡地利用のための積立金が一億円、減債基金の積立が五千万円となっている。それぞれの項で減額もあり、最終的に一億三千六百万円の追加となり、予算は総額四十二億三千七百八十五万五千円となった。

今回の臨時会は、年度切り替え時のため村長権限による専決処分である。十二年度の会計は五月いっぱい閉じられ、九月決算議会にかけられる。

◇庁舎跡地整備基金積立金
旧役場跡地利用については、住民から様々な要望が直接あるいは陳情・請願のかたちで寄せられている。村としては住民のあいだでよく論議して、検討委員会なども考えているが、この開発には一定のお金も必要というところで一億円づつ積み立てているもの。この結果、累計で

庁舎跡地利用に一億円積みたて

四億円になる。

豊丘村のバランスシート

国や地方自治体のきびしい財政状況が続くなかで、豊丘村も例外ではなく、健全な財政のためには住民にとってわかりやすく長期的に把握できる必要がある。従来の決算表のみでは保有する資産や負債等の状況が表示できなかった。バランスシート(貸借対照表)により総合的に算出し公表することが出来る。

このバランスシートについては情報公開の点からも必要性が指摘されており、すでに導入した自治体もある。豊丘村でも議会一般質問などで取りあげられていた。

全員協議会で平成十二年三月三十一日現在のバランスシートが示され、見方や状況の説明がされた。



委員会における被害状況の調査(長沢)

山間部中心にひょうの被害

五月二十七日山間部の佐原、長沢、笹久保、堀越などを中心としたひょうの被害があった。六月定例会にも被害額などの報告があったが、経済建設委員でも現場を確認した。

りんごなど被害額は約六千四百万円。面積的四十ha。長沢りんご園地は特に被害が大きかった。キズが目立つものも多かった。数あったが成果にならないとはっきりしないものも多く、最終的な被害はまだわからない。

場合によっては共済の適用も心配されるが、最小限の被害で済むことを願う。

五月臨時会開催

五月八日、第二回臨時会が開催され、理事者側からの専決処分の提案があり、承認のあと議会構成替えの人事が行われた。

正副議長が申し合わせにより辞任、改選が行われた。今回初めて立候補制とし、候補の所信表明演説、推薦者による推薦演説が行われた。選挙の結果、議長に筒井芳夫氏、副議長に菅沼富士夫氏が再選された。

議長あいさつ

新たな決意

議長 筒井 芳夫

議会は議論を尽くし意志決定の場であります。新たな委員会構成、新たな決意で任期の折り返し点を通過した。

前半の二年間、議員定数特別委員会を発足して、充分な議論の結果、九対八で十六人に削減する修正案が可決したこと。一貫道田村交差点南側の用地交渉が成立、開通へ大きく前進した。これからの二年間は豊丘村に

とって最もきびしい年になりそうだ。郷土沢ダム、田村県道改良、広域農道等の継続事業が白紙化されようとしている事です。行政路線も道路特定財源の一般財源化、地方交付税の削減等地方への影響が危惧されます。

議会も一丸となって住民付託に応え豊丘村発展に英知を結集したい。よろしくご指導下さい。

所属	職名	氏名	議会内の役職
総務	議長	筒井 芳夫	議会だより編集委員
総務	副議長	菅沼富士夫	議会運営委員
総務	委員長	筒井 卓徳	予算特別委員長
総務	副委員長	久保田博人	議会運営委員長
総務	委員	池野 富保	議会だより編集委員
総務	委員	下平 豊久	
総務	委員	池田 祥明	
総務	委員	福沢 幸雄	予算特別副委員長
総務	委員	奥山 義臣	議会運営委員
総務	委員	唐沢 啓六	議会だより編集委員
総務	委員	片桐 秀人	
総務	委員	田中 實	
建設	委員長	鹿角 鉄男	
建設	副委員長	林 惇	監査委員
建設	委員	壬生 清司	議会運営副委員長
建設	委員	吉川 玲	議会だより編集副委員長
建設	委員	北沢 貢	
建設	委員	前沢 光昭	



改正された国保税

	12 年 度		13 年 度	
	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分
所 得 割	2.78%	0.54%	2.63%	0.66%
資 産 割	23.12%	7.27%	16.74%	6.98%
被保険者均等割	14,800円	5,000円	11,800円	5,500円
世帯別平等割	14,700円	3,200円	11,900円	3,500円

国保税が一千五百万円減税

今回国民健康保険特別会計の減税のための条約改正が行われた。具体的には介護保険との関係で一律には言えないが医療分として被保険者一人当たり約六千五百円が減額。又、税率の構成割合が若干変えられた。均等割と資産割が一%ずつ下げられ所得割に二%分上乗せした。このことによりさらに低所得者への負担比率が軽減される。



請願・陳情

◎会員優先指名、並びに早期平準化、適正価格及び地域社会資本整備にかかわる発注のお願い。

—不採択

◎介護保険の緊急改善と安心できる医療保険制度を求める意見書—採択

◎育児・介護休業法の拡充と保育施策の拡充を求める意見書—採択

◎仕事と家庭の両立施策の拡充を求める決議—採択

◎道路特定財源の堅持に関する意見書—採択

◎滞在型の農業体験宿泊施設の誘致に関する陳情 —継続審査

◎伴野原梨団地西側の土地有効利用についての陳情 —継続審査

県食肉公社 進出予定が論議に

今議会の特徴のひとつとして県食肉公社の進出予定にともなう、河野の県営工業団地予定地の考え方について議論がありました。

県営工業団地推進委員会への説明が五月にあり、地元住民への説明が六月初旬にあった。いづれの会場でも今後の乱開発をふせぐためにも推進委員会として取り組むべきではないか、

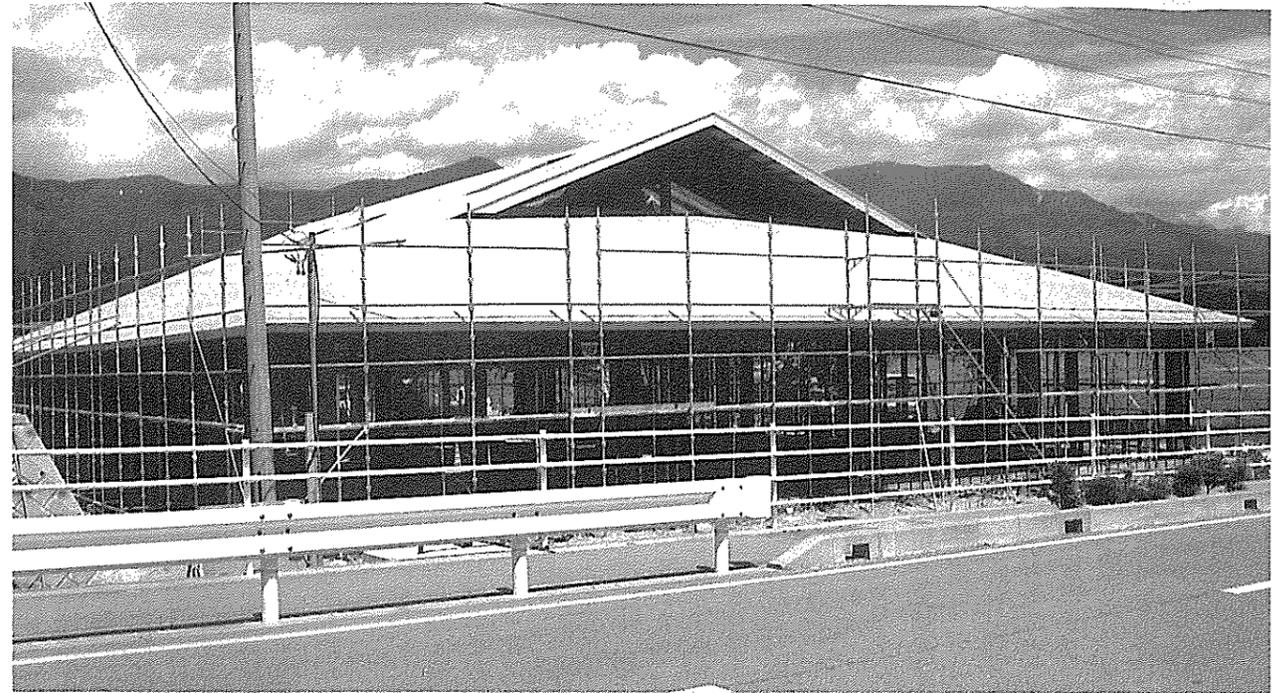


福岡市の臨海食肉市場

いきなり企業の説明会では納得できないなどの意見が出された。県営団地なら県が優良企業の選定をするという当初からの話であったからで、今後の方向にも影響が出るが、この不況の中実際には県は県営団地は今後作らないとしている。

六月二十六日の推進委員会で

は食肉公社は受け入れていく方向となり終了までは委員会対応することとし、今後推進委員会は構成がえをおこない、新たな話があったときには対応する。食肉公社については今後予定地全体の地権者への説明から入っていく予定である。



完成が待たれる介護予防拠点施設（林里）

6月定例会

☆ 国保税が大幅に引き下げられる

第二回定例会が六月十二日から二十五日まで行われました。今定例会は条例改正が二件、十三年度補正予算、陳情・請願二件などが審議された。国保税の減税の条例案が可決され、今年度も大幅減税になる。

一般会計の補正予算も、特に大きなものはなく五千二百万円ほどの増額であった。六月定例会では、一般会計補正予算が五千五百円余が追加され、総額三十三億五千五百六十九万八千円となった。

◆心身障害者タイムケア事業補助金

河野で行われている学童保育子どもクラブの施設内の一角で行われている心障児タイムケア事業は、県単のみの補助であったのを、村単で四十万円上乗せ補助するもの。

◆畜産振興事業補助金

和牛導入補助として九十二万円、SPF豚への補助として六十万六千円、合計百五十八万六千円が計上された。

◆不法投棄監視委員

家電リサイクル法スタートにともない、リサイクル料、運搬手数料などが有料化になり、不法投棄が増えることが予想され、監視委員の設置が義務づけられた。当初三人の予定であったが、三人では少ないという声もあり

◆道路新設改良

今回七路線四十二ヶ所が新設改良されることになったが、二千万円の追加の補正である。

◆松くい虫防除対策事業

年々増大する松くい虫被害であるが、今回の補正で三百五十五万七千円が計上された。

◆保全松林健全化事業

松くい虫被害と関連して一千六百二十三万円が計上された。

◆コンバイン整備補助金

これらの機械は大変消耗がはげしく、五年に一回は更新が必要とのことから県から百六十六万円、村費から六十八万三千円、あわせて二百三十四万円が補助される。

13年度補正予算

予算特別委員会の質疑から

道路新設改良に五千万円 総額は四億円余に

当初予算では前年より一億円減であった新設改良費に五千万円追加する。十二年度施工分三千万円を減額するため、二千万円の追加補正となる。

新規に採択になるのは、旧長沢線長沢、北入線北入の二路線、事業費の増額をされるのは、地藏堂中芝線、中平新田線、大入山線、溝下線、原坂本原線の五路線であると説明された。

当初予算審議で六月に増額補正するとの村長の答弁によるもので、長沢中央線は十二年度に辺地整備で施工したため三千万円が減額される。

県営工業団地造成推進委員の報酬に六十四万円

「少人数で効率的な委員会に」

河野県営工業団地にこのほど食肉公社の進出計画が持ち込まれ地元説明が行われている。

この委員は河野区会議員、地元農業委員等で三十六名の委員があり、この委員会が対応しており不足額を追加するものである。この委員会の任務や権限の範囲等の質疑がおこなわれたが、もっと少人数で効率的な委員会にできないかとの意見があり、今後の進行状況の中で考えていきたいとの答弁があった。

簡易水道特別合計

ポンプ・減圧弁に六百五十万円 「緊急に水源確保の対策を」

林里水源は硝酸性窒素の価が一三・六ppmとなり、国の基準の一〇ppmを大幅に超えたため、林配水池に駐在所横の水源から送水し、薄めて給水している。そのためポンプがフル稼働し、オーパーホールが必要となっている。このため河野配水池より田村地区に送水したところ、水道管破裂が各所に起った。そのため声部川沿いに減圧弁を設置し緊急対応するもの。

脱ダムの問題もあり水源問題は今後課題であるがこれに対し質問 他の水源も悪化して来ており緊急の対策を考えるべきだ。地下水源でも場所や深さにより安全な水源もある。緊急に対策を講ずるべきではないか。

答弁 将来は上流の川から表流水を取るのがベターと考えるが、当面は、指摘の通り地下水源で対応する方が、良策と考えている。

精神障害者支援に百一万円 「事務移管準備は万全か」

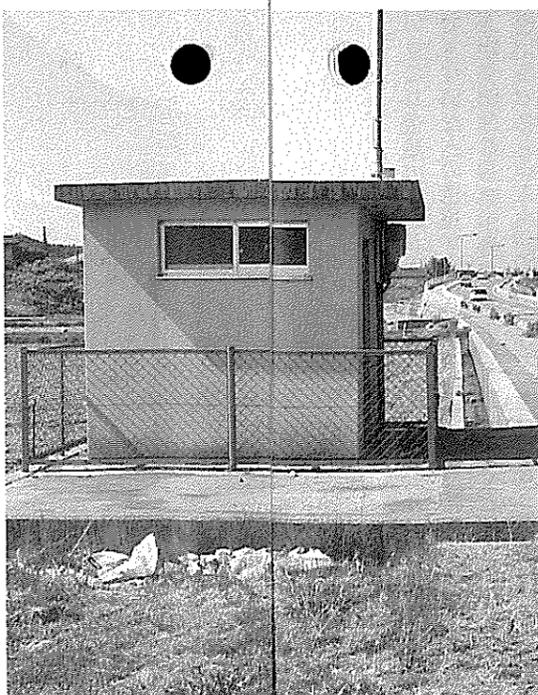
法律では障害者を身体障害、知的障害、精神障害の三つに分けられそれぞれの施策が行われている。身体障害者の事務はすでに町村に移管されているが、精神障害は十四年に、知的障害は十五年に各々事務移管となる。今度、精神障害者の地域福祉のための支援センターと援護寮が、精神科を持つ飯田病院によって三億円余で建設される。この助成金として飯田病院から要請があり、飯田市が三千万円、町村が一千万円負担することとなり、その豊丘分として百一万円を計上したと説明。

質問 来年度から事務移管について、その準備状況はどうか。

答弁 現在保健婦が、精神保健福祉士の資格取得中で、順次進めている。



工事中の長沢中央線



汚染が進む林里水源

松くい虫対策に二千万円追加 「費用対効果は？」

松くい虫防除、松林保全の二つで計千九百七十八万円追加するもので、当初予算と合わせ九千四百六十万円となる。

松茸保全のため現在は上段から伐倒駆除が行われている。一般質問でも取り上げられ、枯木が増加していく状況の中

タイムケア百時間上乗せ、学校週休二日制に対応したい

県では平成九年より、心身障害者の一時預かりをするタイムケア事業を行っている。当村でも平成十年条例を制定し、実施している。この事業は一人年間百時間の利用を上限としているが、障害児を育てながら働くお母さんが増えており、学校の送迎等に利用がされている。

費用対効果、樹種転換、防除方法等現在の対策に疑問符が出はじめています。現在は個人山でも無料で駆除しているが、樹種転換をするには負担の問題も出るし、村の産業としての松茸の保全もあり難しい課題との答弁がされた。

林原にあるパターゴルフ場は年々利用者が減少していることから管理を委託にし、百三十五万円を減額、五十五万円管理委託にしたいとの提案である。これにより平日は予約制となる。土日曜を開場月曜休場に。

質問 利用拡大や、利用しやすくするのが本来ではないか。

答弁 過去数年利用拡大の方策をとって来たが減少は止まらない。マレットと異り上部につながる競技ではなく、無料化して

パターゴルフ場委託管理に 「他の施設と組合せ管理検討も」

林原にあるパターゴルフ場は年々利用者が減少していることから管理を委託にし、百三十五万円を減額、五十五万円管理委託にしたいとの提案である。これにより平日は予約制となる。土日曜を開場月曜休場に。

質問 利用拡大や、利用しやすくするのが本来ではないか。

答弁 過去数年利用拡大の方策をとって来たが減少は止まらない。マレットと異り上部につながる競技ではなく、無料化して



委託管理となるパターゴルフ場

問 質 一 般



現地を訪れたダム検討委員会のメンバー

質 郷土沢ダムができない場合の水道水源は 答 別水系の河川水がベター

片桐 秀人

質問 田中知事は県営ダムについて「必要ないと信じている」との記者会見をしているが、ダムはできると思っているか。

村長 心配している。すべて駄目と思わない、期待を持っていない。

質問 ダムができない場合水道水源として一日千立方メートルの水はもらえるか。

村長 平成九十年にかけて水利権者の同意を頂いた。ダムができなければ水はもらえない。別の水源の上流から取水を目指す必要がある。地下水は控えない。河川水がベターと考えている。

質問 ダムの位置が高すぎて治水効果が薄いと思うがどうか。

近年は流木による災害が増加しているが、金山附近に流木除去の対策をしたらどうか。

村長 地質の関係である位置になったと聞いている。治水効果は十分の程度はあると聞いている。芦部川の橋は高いところに架かっているので心配はしていない。

質問 この役場は昔から芦部川の氾濫で洪水の被害に遭っているが、防災無線や危機管理の対応は考えられているか。

村長 平谷村では防災無線の機が土砂に埋まり機能しなかった。携帯電話が役立つと聞いている。できれば携帯電話帳をつくりたい。危機管理の訓練は必要と考えている、今後検討していきたい。

質 学校給食の地元農産物使用は 答 米・果物は使用、野菜は困難

唐澤 啓六

質問 ①村内産の米を使用し、飯田市の業者へ炊飯を委託する方式から、給食センターでの炊飯方式に切り替える考えは。

②栄養価が高く、安全な市田酪農牛乳を使用する考えは。

③地元産野菜の使用はどうか。

教育長 ①天竜沿岸の米が使用されており、村内産のコシヒカリも使われているが、炊飯方式は施設面とスタッフの面から委託方式が当面ベターと考えている。

②高森町からも要請されている。

相次いでいるが、景観を生かした観光農業の振興にとってマイナスの要因とならないか、又村としての支援策はどうか。

②農業振興地域整備促進協議会の指定解除の審議の中で、農業委員と他の組織から選出されている委員との間で意見の相違があると聞く。同協議会の構成にすぎと考えるが。

村長 ①数件の申請がでていますが、一つは資材置場・作業員宿舎でありすでに認可されている。他の一つは病院であり、七月初旬に正式認可の見通しである。観光農業については「だいち」を中心に支援していく。

②協議会としての良い方向付けができるよう検討していきたい。



器用な手つきで料理実習



質 小泉内閣の聖域なき改革について 答 地方交付税等の見直しは懸念

田中 實

質問 小泉内閣が聖域なき改革を掲げて、旋風を巻き上げて、登場しました。政府は七つの構造改革プログラムを設定し、道路特定財源・地方交付税の見直し等、都市対地方と、豊丘村には厳しい改革が予想されます。

河野山吹間の天竜川架橋・郷土沢ダム・広域農道先線など課題は山積しています。建設課長不在（助役兼務）では懸案事項の解決はむりがあるのでは。町村合併については、信毎のアンケートによると、喬木村長は理解、松川町長は反対を表明したが、その後助役をトップに、庁内に研究会を発足させた。吉川村長は反対を表明したが、本音はどうか。地方交付税の補正が四千人未満の自治体はすでに減額となっているが、四千人以上にも及ぶとすれば、その影響は

どうか。

国土交通省が未着工のダムは凍結、郷土沢ダムの見解について。美術館など、箱物の起債は一切認めないと報じています。豊丘村には非常に厳しい風が、吹き荒れる事が予想されます。

村長 地方交付税・道路特定財源については、都市と地方の割合を変えて行くと、人口はさらに都市に集中してしまい、反対を表明しました。

合併論議については、飯田市の上段地帯と比較して見ると、賛成できない。機構改革について、課を一つ減らす様研究している。公共施設の利用率の低い施設は、管理人の縮小、消灯時の検討を行う、福祉の充実と、生活基盤整備の事業については積極的に取り組んでまいりたい。

問 質 一般

質 宿泊施設は活性化の手段では

答 考えが固まっていない

奥山義臣

質問 自炊型宿泊施設の取り組みについて、昨年度、活性化委員会でも議論してきましたが、村長さんのお考えをお聞きたい。

①行政主導の場合破綻することが多い。

②地域の個性、特性をつかんだ取り組みをセットとする。

③地域活性化の取り組みの原動力は地域に求めるべきで、目的を持った懇談会を開くなり、有志組織の立ち上げをすることが大切である。

等のことを大切に考えていた

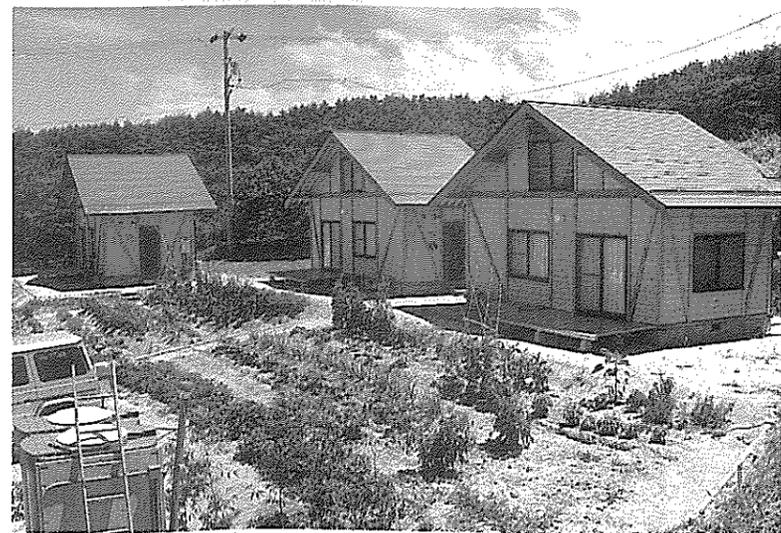
だいて、宿泊施設の取り組みが、孤立したものにならない、大き

農地の活用という難問に正面から取り組む必要がある。各地の活性化策を参考に、各地域での議論を興し、前向に情報を提供し、呼びかけ

ていく姿勢、熱意が必要である。

瞬間的に燃え上がる熱い思いではなく、静かな闘志を持って大きな目的に向かってほしい。

村長 基本的に同感である。



上久堅の「小野子クラインガルテン」

画 査も

前沢光昭

質問 現在の取水、給水の状況は、郷土沢ダムの計画がわからない中で、今まで村で立てていた水道計画だが、今後の水源はどうするのか。水質汚染についても水田のせいにするだけでなく、現在の深井戸もミソベタ層の下まで掘れば水質もきれいで豊富な水があることは食肉公社の説明会でもいっている。きちんとした原因の調査、水脈調査の必要があると思うがどうか、水利権の問題についてもどう考えるか。

村長 現在、北部簡水限界揚水量は合計で千四百九十七㎥だが実際は千八百十四㎥取水している。

水質は汚染物質の除去方法はイオン交換樹脂法などがあるが研究中。水脈調査も必要あれば行う。



フル稼働中の田村水源

質 どうする村の水道計画 答 必要あれば水脈調査も

小泉内閣の本質は

質問 小泉構造改革は地方自治にとっても深刻な問題。中身が問題でやろうとしていることは大変危険。不良債権の処理も全国で二十〜三十万社倒産、失業者も百万人は増えると言われている。地方自治体にとっては地方交付税、市町村合併などは人ごとではない。村長はこのことについてどうとらえるか。また健康保険についても本人の三割負担、大病院の外來五割負担など改善を計画しているがこれら総体的に村長の考えは。

村長 地方財政計画等も、言うべきことは言うことが大事だと思う。市町村合併も現在言われているような内容は賛成できない。参院選挙などこれからの動向で変化するのではないか。そういうような長い目で見なければならぬと思う。

質 行政執行に伴う情報公開は 答 早期開通への要望に対応

下平豊久

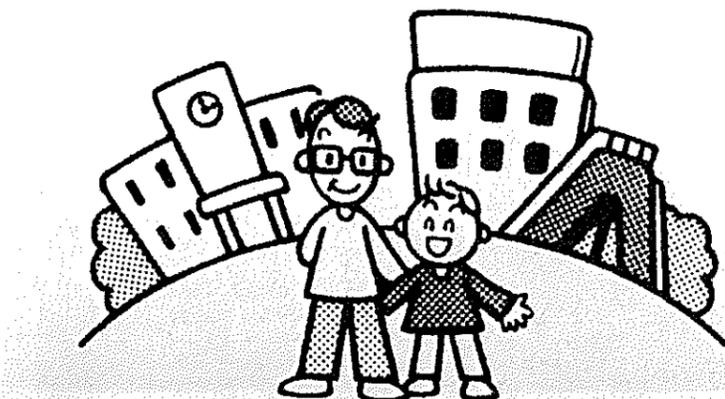
質問 懸案であった一貫道路未開通部分の契約が締結され、早期開通への経過と今後の行政執行につき質問する。

第一に、懸案解決に当たった村長の基本的な視点、立場についてお聞きしたい。言うまでもなく村の行う行政の執行は、村民に等しく公平、公正でなくてはならないが、今回の高度な政治判断に基づく解決は、率直に言っていささかその公平・公正さを欠いたものと言わざるを得ません。確かに行政側の不手際や詰め甘さ等も今後の教訓と

しなればならないが、解決に当たっての基本的視点・立場をお聞かせ下さい。

村長 村民の早期開通への強い要望と、それに伴う経済効果の観点で事に対処しました。

質問 第二は、その後の事態の進展と村民の受け止め(反響)についてお聞きする。地権者との契約も完了したが、早期開通への進捗状況はどの様に進展しているのか。一方村民の中には、今回の政治解決を疑問視する声もあり、村と議会に対して、事実経過を明らかにするよう、契



約書類、議会の議事録等の開示を求め情報公開請求もされているが、村民の受け止めをどのように判断されているか。

村長 二月二十八日の契約締結に基づき、九月には明け渡し、十一月初旬には開通の見通しだ。

村民からは、懸案が解決されてよかったとの声を聞いている。

情報公開請求は承知し、本人は一定の開示で了解したと考えている。

追跡

あの件は、その後
どうなっているんだな?!

レポート I

今回から一般質問に対する答弁や、陳情などについて、その後どうなっているのか御意見などありましたらお気軽にお寄せください。

・請願で採択された課題追跡調査し掲載します。

3 同報無線の難聴地区の解消を

防災無線という役割から、全村が等しく緊急情報が得られるよう再調査する必要がある。
難聴解消には、従来型のパンザマストにこだわらず、新技術によるもので対応したらどうか。

採択内容

H11・12議会

これからは

昨年の委託調査結果を基に、さらに追加箇所を加え難聴対象地区(家庭)をまとめる。
改善策としては、拡声アンプとスピーカーを、屋外に支柱を立てるなどして設置する。
対象地区は約二十、工事費として二千八百万円を予算計上している。



パノラマ公園のパンザマスト

2 図書室の改善と図書館の新設を

現図書室への冷房設備は、当面他の方法で行い、新図書館ができるまで我慢してほしい。
貸出方法は、現行のカード方式はプライバシーの点から問題あり改善したい。返却方法も改善したい。
新図書館は、今のところ旧役場跡地に併設を考えている。

答弁内容

H11・9議会

これまでは

平成十二年度に冷房設備と暖房用のホットカーペットが整備された。
貸出方法は、従来の貸出カード方式は全廃し、新たにブラウザ方式に変更された。この方式は、利用者を登録し個人カードを使って貸出するため、プライバシーは守られる。

これからは

文化と教養の維持、向上のために新図書館は必要です。
旧役場庁舎跡地の利用や、文化施設の併設など含めて、次期振興計画での検討課題となっている。

1 猪●鹿などの有害鳥獣対策を

平成十一年度は、防獣綱の補助金として約百万円予算化した。県には、対象鳥獣の拡大、猟期の延長などの要望をしたい。
猟友会への補助金の増額や農家の補助金も考えたい。

答弁内容

H11・9議会

これまでは

年々被害が拡大されるため、昨年度は新たに「有害鳥獣駆除対策協議会」を組織し、実効ある対策について検討される。
猟友会などへの補助金増額や、広域駆除として松川町と合同の駆除を実施した。

これからは

今年度から新たに捕獲補助金制度が創設される。内容は「猪」一頭三万円、「鹿」一頭一万五千円。予算総額は百二十万円。
その他、「綱」や「おり」「爆音機」設置の補助金や、猟友会補助金として合計二百六十万円が予算計上されている。

一般質問

質 松くい虫対策の見直しを 答 所有者と共に考えてもらう

北澤 貢

質問 松くい虫対策については平成五年から成五年から松林の保全、特に松茸の産地ということで重点的に取り組んできたが近年、爆発的に被害がでている。この辺りで一度見直しが必要がある。被害木の処理については今後どのようにしていくか、村で出来る限度はどこまでか。煙蒸処理

質問 松くい虫対策に必要と考える。個人の財産でもありどのような理解を求めているのか。
道路沿線は支障木や日陰地が多く樹種転換とあわせて日陰地の解消と環境美化に努めるべきと考えるが。
駆除材の安全管理とビニールの処理についてどのような対策を講じられておられるか。
今後事業を進めていく中で、村で対応することと山主の責任についてどう考えておられるのか。
村長 駆除することによって数年でも先に延ばせるし防止もできる。しかし一億近い金を毎年のように使うことは心配しているし、住民の皆さんからもご意見がでてこようかと思う。さらに処理単価の引き下げも検討。被害の多い個所の樹種転換については松をなくするというようなことを特に県の方で指導を

してもらって。松茸が出る所の松をなくすることは個人の皆さんから理解を得られ解るか心配だ。日陰地、景観対策はそれなりの補助事業があり研究する中で方向付けをしていく。山主の義務については、共に考えてもらわないと村民の同意は得られないのではないかと。



準備中の空中防除用ヘリ

経済 建設

道路特定財源の堅持に全力

五月八日の臨時議会において各常任委員会が新しく編成されました。経済・建設の分野は間口が非常に広く、それだけに村民の皆さんとのつながりも多く期待されている委員会だと認識と責任を痛感いたします。

豊丘村の今後の注目すべく大きな事業は、広域農道河野地区の滝川ルートの開設、一貫道路の先線河野と山吹をつなぐ天竜川の架橋の問題、田村地区の市田停線の早期完成、など豊丘村単独で出来る事業でなく、国県の補助事業を取り入れて頂かな

ては出来ません。小泉内閣は財政改革による道路特定財源を一般財源化して活用する議論がされています。道路財源とは揮発油税、自動車重量税等を、地方の道路整備の財源として、配分交付されているものです。

道路は豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展を図るための最も基本的な社会資本であり、その果たしている役割は重要であります。特に地方においては道路整備の水準も低く、地域住民の生活を支える交通基盤とし

て緊急医療、消防活動さらに通勤、通学等の生活に大きな支障を来している状況にあります。地方にとっては、今後とも大きな問題であり、意見書として小泉総理にぜひ地方の状況をご理解下さる事を願い、内閣、総務、財務、国土、経済財政政策の大臣に提出致しました。

六月の議会に補正予算として松食い虫防除費、土木関係等で当初予定されていた、地区の申請箇所は全部決定されました。経済建設委員長 鹿角鉄男



供用開始が待たれる竜東一貫道（林里）

だより

委員会

総務 合併について

国、地方自治体を通じた厳しい財政状況のもと、地方分権の推進や住民ニーズの広域化、高度化に的確に対応してゆくためには、期待される役割を担うことのできる市町村の体制づくりが重要であります。県では「市町村合併は、市町

項目	広域連合	合併
広域的な行政サービスの提供	構成団体に共通の事務について広域的な行政サービスの提供ができる。	すべての事務について広域的な行政サービスの提供ができる。
行政サービスの高度化・多様化	事務処理の共同化により専門職の採用や専任職員の配置が可能となる。	事務処理の一本化により専門職の採用や専任職員の配置が可能となる。
事務処理の効率化	共同で事務処理を行うことにより単独処理よりも効率化な事務を行うことができる。	すべての事務が一本化されるため、広域連合よりも一層効率的な事務を行うことができる。

きな影響を及ぼすものであるため、それぞれの地域において主体的な論議や検討が十分行われることが大切なので、必要な情報提供や助言を行います」と言っています。松川町では助役を長とする研究会を立ち上げたとのこと。合併するしないの結論は別としても、研究はする必要がある、このことについて議論が村民間でおこなわれるような土壌が大切であります。また、その論議の為の話題を議員は積極的に提供すべきではないか。と云う考えで総務委

財政基盤の強化	事務処理の効率化により、経費削減を図ることができる。	経費の節減を図ることができるため、広域連合よりも行政基盤が強化できる。
住民と行政との距離	長や議長の直接選挙ができ、住民からの直接請求ができています。	市町村の垣根がなくなるため、広域連合よりも一層住民に開かれている。
意思決定等の迅速化	構成市町村間の調整等が必要なため、意思決定等に相当の時間を要する。	市町村の垣根がなくなるため、迅速な意思決定ができる。
責任所在の明確化	住民との距離があるため、責任の所在が不明確になりがちである。	責任の所在が明確である。

総務委員長 筒井卓徳

社会 高森町との福祉施設の負担金について

①高森町より示された額は、一億五千万円。この金額が妥当なものであるか委員会で検討するよう村長から諮られた。その結果、この中には土地代も含まれているが、今後発生する備品等相当額が見込まれる事と、豊丘村高森町の行政の大きなかわりのある仕事もあり、両町村の太い絆が生まれる事を念願して町長の要望通り当委員会として決める。「決定は理事者の考え

による」 ②「介護休業法と保育制度の拡充を求める陳情」検討の結果採択。現状は、少子化の進行している中であり、ILO百六十五号勧告にたち育見介護休業法に一層の改善を加える様、議会の決議と適切な文章で意見書を提出する事になりました。③介護保険の緊急改善と安心できる医療保険制度を求める陳情

は、本年十月から介護保険料が現状半額から元にもどる事でこのままこの制度をつづけてほしいという内容。一律六十五歳以上の特別対策は問題がある意見の中で、陳情書は採択される。委員会として、不適切な表現を検討のうえ賛成する事に決める。又その中で保険税未納の為保険証の返還させる事をやる様陳情が含まれる。平成十二年度で保険税未納は九世帯。

社会委員長 福澤 幸雄



建設中の福祉複合施設



婦人会では、村の行政への関心を深めるため、年一回の議会の傍聴を計画をし、六月定例会期間中の二十二日に、一般質問の傍聴を八名参加を得て、行いました。質問者は七名の内、四名の議員さんの質問を聞いて、いつも感じることは、一人の質問の持ち時間が決まっていると思うのですが、長くて、もう少し簡単明瞭にできないかと感じます。傍聴するものにとっては、できれば、質問者全員の方の考えと理事者の回答をききたいと思っておりますので、ご一考下さい。

又、一般質問の日

議会を傍聴して

大塚きしみ 河野寺垣外

程ですが、一人でも多く傍聴するためには、土曜、日曜、夜間などに開いては如何でしょうか。又、皆さんに関心をもってもらうためにも、前もって質問者と質問内容が分かればよいと思います。

来年からは、週休二日制になり子供達が家にいる時間が多くなると同時に図書室の利用も多くなると思われます。先日村より配布された第四次総合振興計画の中に、図書館の建設が入っています。是非ともいれていただきたいと思えます。



広域 議会

待機者多い 特養のあり方

介護保険制度がスタートして一年余りが過ぎた。豊丘村でも二百五十七人の方(二月現在)が介護サービスを利用している。

在宅看護を理想としながらも、施設介護を希望する傾向にあり中でも特養への入所希望が多く飯伊で、五百八十人が入所でき

ず「待機」の状況にある。特養運営検討委員会幹事会は、広域による共同運営、共同負担の原理が働かない現状をふまえ、特養の在り方について課題を検討提起した。

一、入所者一人月額八千円負担特養の建設費、用地費は、設置市町村の負担で、共同運営に近づいたために、構成市町村は管理運営費として一人月八千円負担しているが、何のための負担か、高度な検討が必要としている。

二、公設・民営化

現に公設されている九荘は公営であるが、高森の特養は公設民営である。

経営合理化の手法の一つとして、民営化を図ることが望ましい。

三、大規模改修の共同負担

事業費五千万円以上の大規模改修(国庫補助対象)は、構成市町村の共同負担(設置市町村四〇%、その他市町村六〇%)とすることが決定している。

今年松川荘が該当で、事業費は三億五百六十五万円であり、補助対象分は、二億四千八百五十三万円。豊丘村の負担は百六十六万三千円である。

四、市町村の持ち出しがなく

介護報酬の枠内で経営する方が必要である。赤字決算見込みの二荘は人件費率が高いのが要因である。

編集後記

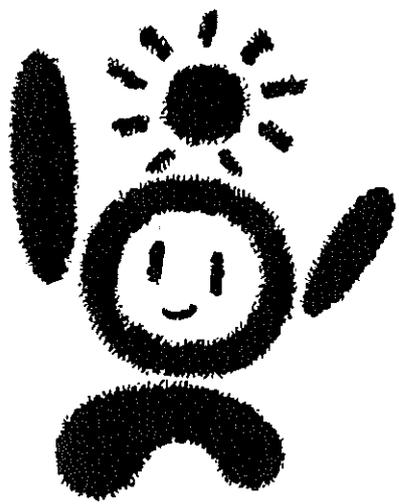
・前号の議会報でもふれましたが、森首相から小泉首相と変わりました。首相は自民党を変え、日本を変えるため、ひるまず、取られず、恐れず、聖域なき構造改革を断行すると、国民に明言し高い支持率を得て小泉人気がもとで、都議選自民圧勝し参議選をも制するといわれてます。

・不良債権、特定財源、地方交付税、老人医療等経済財政基本方針の断行は、少なからず地方行政国民に取って、痛みを伴うことばかりであります。

・参議院選挙後、予算法案その外すんなり首相の思い通りになるでしょうか。首相自らいう通り夏から秋にかけて大変であり、前途多難であると、痛みの先に果たして光が見えてくるのであるうか、国民は注目したい。

・新しい議会構成により、私共五名が今後二年間編集委員をとめることになりました。今までに増して村民皆様のご支援ご協力を心よりお願い致します。

南信州広域イベント マスコットキャラクター



いいとこなんだに、南信州

- 編集委員長 菅沼富士夫
- 副委員長 前沢 光昭
- 委員 片桐 秀人
- 委員 下平 豊久
- 委員 筒井 芳夫